

日銀・大阪支店

大阪のメインストリート・御堂筋を歩いていた。ひととき目立つ堂々とした歴史を感じる建物に出会った。それは緑青の色が美しい丸屋根のある洋風建築であった。これは何だろうと興味深く近づくと日本銀行大阪支店旧館であった。御堂筋を隔てた正面には大阪市役所本庁舎があり、堂島川と土佐堀川に挟まれた大阪の中心地に位置していた。

この建物はベルギーの国立銀行をモデルに、日本銀行本店、東京駅舎、国技館、中央公会堂などを設計した辰野金吾によるもので1903（明治36）年に建設されている。日銀には全国に32支店あるがその内の大阪は商業の町として重要な役割を果たしていた。



日銀より現在発行中の日本通貨は硬貨では、1円、5円、10円、50円、100円、500円、記念貨幣。紙幣では、千円、二千円、五千円、一万円となっている。最近2千札を見ないのはここ10年連続製造量がゼロであるとのこと。ピーク時には5億枚あった流通量も現時点では1億枚強に減少とのこと。しかし普段見ることは皆無に近い。

いずれにしてもあまりお金に縁のなかった私の人生。サラリーマンとして上を見ればきりが無い。下を見てもきりが無い。決められた給料の中でやりくりしながらここまで生きてきた。しかしもう少しお金があっても邪魔にはならないのだが。如何なものでしょう。撮影2013年春

